

福部地域の振興事業

福部地域振興会議

福部町総合支所

1. 地域の特性

- ▶ 人口 2,948人
 - ▶ 世帯数 1,042世帯
 - ▶ 集落数 21集落
- } H31.1.1現在

▶ 町北部

駅前・高江地区（支所周辺）以北は都市計画区域に含まれ、特に海岸部は山陰海岸国立公園に指定。

▶ 町南部

栗谷・箭溪から以南は都市計画区域外で、主に第2種兼業農家（水稻）を中心とする農村地帯。



鳥取砂丘



清内谷集落の棚田

2. 市町村合併後の人口・世帯数の推移

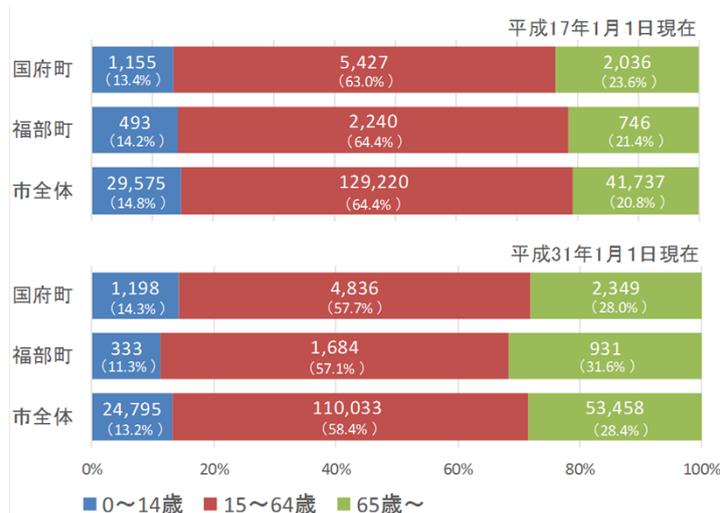
人口	平成17年1月1日	平成31年1月1日	増減率
国府町	8,618	8,383	-2.7%
福部町	3,479	2,948	-15.3%
市全体	200,532	188,286	-6.1%

▶ 市町村合併直後の平成17年1月1日時点と合併後約15年を経た平成31年1月1日現在を比較した人口は、福部町が市全体平均より一層減少している。

世帯数	平成17年1月1日	平成31年1月1日	増減率
国府町	2,790	3,332	19.4%
福部町	995	1,042	4.7%
市全体	72,449	79,960	10.4%

▶ 世帯数は、国府町が福部町や市全体平均より一層増加している。

3. 年齢3階層別人口構成



▶ 市町村合併直後の平成17年1月1日時点の年齢3階層別人口構成は、国府町・福部町ともほぼ市全体平均と同様。

▶ 合併後約15年を経た平成31年1月1日現在は、福部町が国府町・市全体平均より少子高齢化が進行している。

4. 産業・観光振興 (その1)

■ 産業

- ▶ 平成28年に砂丘らっきょうが農産物地理的表示保護制度(GI)に登録され、観光梨狩り園とともに砂丘ブランド農産物として定着。
- ▶ らっきょうの赤紫色で可憐な花が平成23年度に市の花に選定され、鳥取砂丘の新しい観光資源としても注目されている。



らっきょう販売額・出荷量の推移



二十世紀梨



らっきょうの花

4. 産業・観光振興 (その2)

■ 観光振興

鳥取砂丘周辺では四季を通じて様々なイベントが開催。

- ▶ 春 鳥取マラソン
- ▶ 夏 多鯨ヶ池手づくりいかだレース、砂丘ビーチ砂もり大会
- ▶ 秋 鳥取砂丘トライアスロン大会、鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会、すごいライド
- ▶ 冬 鳥取砂丘イリュージョン

総合支所も地元団体として事業運営に協力。



鳥取マラソン



多鯨ヶ池手づくりいかだレース



鳥取砂丘トライアスロン大会



鳥取砂丘イリュージョン

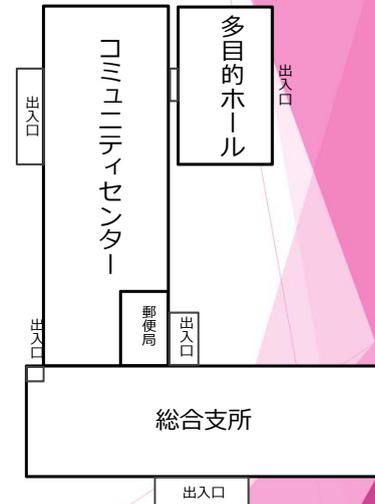
5. 新たな拠点づくりの推進（その1）

■ 支所庁舎の耐震化と複合化

- ▶ 支所庁舎耐震化工事 ～2019年7月
- ▶ コミュニティセンター（旧中央公民館）との複合化工事 ～2020年4月



福部町総合支所



複合化後のイメージ図

5. 新たな拠点づくりの推進（その2）

■ 福部未来学園

- ▶ 平成30年4月1日に福部未来学園が校舎一体型幼・小・中一貫校に。
- ▶ 中学校校舎に生じる空き教室等の今後の有効活用について検討中。



福部未来学園中学校校舎

活用案

- 旧配膳室を給食用味噌の貯蔵庫に利用したい。
- 放課後児童クラブやNPO法人で利用したい。
- PTAの活動場所として利用したい。
- 支所の物置として活用したい。

6. 防災対策

- ▶ 塩見川の河川改修事業は順調に進捗中。
- ▶ 平成29年9月の台風18号では、床上1件、床下3件など、浸水被害の完全解消には至らず。
- ▶ 今後も、河川改修工事の進捗に併せた内水排除施設の整備などを関係機関に強く要望。



消防団格納庫

平成30年10月に消防団の詰所及び車庫を有する格納庫を新築。



塩見川 平成25年9月4日



塩見川 平成30年10月1日

7. 防犯対策

- ▶ 集落間の道路では、防犯灯が設置されにくい状況。
- ▶ まちづくり協議会と区長会が連携し、平成31年度から約3カ年で福部町内の集落間43カ所に防犯灯を新設。※維持管理は福部まちづくり協議会



防犯灯設置イメージ

事業の流れ

- ・事業計画 まちづくり協議会が設置場所を調査し、町内を3ブロックに分けて管理台帳を作成。
- ・事業申請 区長会が同意し、まちづくり協議会が平成31年度新規防犯灯設置申込書を市道路課へ提出。
- ・負担金 1世帯当たり年150円（電気料金及び維持修繕用積立金）※845世帯
- ・徴収方法 区長会が各集落へ交付金を交付する際天引きまたは区長がまちづくり協議会へ納付。
- ・見直し 43基設置完了後、新たに設置が必要な力所が見つかれば、事業を見直し追加する。

8. 新たなインターチェンジを利用したまちづくり

- ▶ 町内を横断する山陰近畿自動車道に新たなインターチェンジを設置するよう国に要望中。
- ▶ 国からは、新たなインターチェンジ設置によるまちづくりを示すよう求められる。
- ▶ 平成29年度に「福部のまちづくり構想」を策定。
- ▶ 平成30年度にワークショップを開催するなど基本計画の策定に取り組み中。



高速道路網整備イメージ図



まちづくりワークショップ開催状況

9. めざす将来像（その1）

- 鳥取砂丘と共に発展する地域
 - ▶ 鳥取砂丘の魅力を活かしながら、砂の美術館や砂丘らっきょう、観光梨狩り園などの観光資源を融合した産業・観光振興を推進する地域。
 - ▶ 自然と調和し多くの人に親しまれる魅力に富んだ観光地として、今後も発展する地域。



若手生産者による普及啓発活動

将来像

※新市域振興ビジョンより

「心豊かで潤いのある砂丘の郷 福部町」

9. めざす将来像（その2）

■ 誰もが心豊かに暮らせる地域

- ▶ 山陰海岸国立公園および山陰海岸ジオパークの美しい自然の中で、住民同士が交流して郷土愛を育み、誰もが生きがいを持って健康で快適な暮らしができる地域。



ふくへ傘踊り愛好会

平成30年度に福部町文化協会が創立10周年を迎えたことから、輝く中山間地域創出事業を活用して福部未来学園の児童・保護者ら約30人で「ふくへ傘踊り愛好会」を結成し、第54回鳥取しゃんしゃん祭に初参加。

今後の振興策

（国府・福部地域連携）

10. 新たなインターチェンジの設置

- ▶ 国府地域の住民も岩美以東への利便性が向上。

国府・福部の両地域が連携して要望活動を進める必要があります。



滝山トンネル

平成28年3月に県道卯垣正連寺線滝山トンネルが開通し、国府・福部間の往来が便利に。

しかし、岩美方面へは、依然、駈馳山峠が利用されている。



山陰近畿自動車道位置図



山陰近畿自動車道

11. 岩美広域農道(美野梨ロード)の産業・観光での活用

- ▶ 在原行平ゆかりの地（福部町蔵見・上野）⇔旧美歎水源地⇔因幡万葉歴史館・・・歴史ロマンあふれる道。

国府・福部の両地域が連携して活用策を進める必要があります。



行平塚



岩美広域農道（美野梨ロード）



旧美歎水源地